

☆ 米 国

繊維政策

AFFOA、起業家支援プログラム AFEP の立ち上げを発表

Advanced Functional Fabrics of America (AFFOA) はこのほど、MIT-Venture Mentoring Service (MIT-VMS) と連携し、AFEP (Advanced Fabrics Entrepreneurship Program) を立ち上げた。

AFFOA は、新たな高機能繊維や同製品の開発促進を目的として、2016年に米国政府、州政府、産学パートナーシップから資金提供を受け、3億ドル超をかけて設立され、2017年5月に開所した(海外速報2017年6月30日号)。AFFOA はこれまでに既に、プログラミング可能なバックパックや帽子など、スマートファブリック技術搭載製品を発表している。

AFFOA は、従来の繊維、糸、生地を、洗練されたネットワーク接続可能なデバイス・システムに変え、テキスタイル産業を付加価値のあるハイテク産業へと変革させるには、起業家とタッグを組む必要があると考え、この度 AFEP を立ち上げた。当プログラムでは一年にわたりワークショップ、講義、ネットワーキングイベント、個別指導、その他キャンパス内外での活動を通して起業家たちを支援し、起業に必要な基礎を提供する。米国で最先端の生地ビジネスを始めることを目標としている。製品の生産は米国内で行うことが義務付けられている。すでに24のベンチャーチームが当プログラムのメンバーに選出されている。

マサチューセッツ工科大学 (MIT) の教授でもある AFFOA の CEO・Yoel Fink 氏によれば、消費者の需要がスマートファブリック産業の技術革新の速度を追い越そうとしており、今こそ発展初期段階にある同産業に幅広く新しいアイデア・用途を見出したい考えだ。「消費者はデジタル製品の開発スピードを生地にも求めている。アパレル業界がこれに追い付いていない」と Yoel Fink 氏は述べた。同プログラムでは、多くの最先端生地ビジネスの始動に繋がるシステムの創出を目指しており、Nike や New Balance など AFFOA と提携関係にある大手アパレルメーカーからも注目が集まることを期待している。AFFOA は、産学のギャップを埋めるという狙いがあり、AFEP が両者の架け橋となると自信を示した。

AFEP には、心臓病の初期段階を検知できるスマートブラ、負荷がかかりすぎた場合に警告を与えてくれるバックパック、運転手の注意散漫を低減させる目的でセンサーが埋め込まれた生地を使用したハンドル、ペットの居場所を追跡し監視する首輪など、様々なプロジェクトが含まれている。